

膵・胆道ドック(MRCP)

人間ドックの オプション検査

どんな検査？

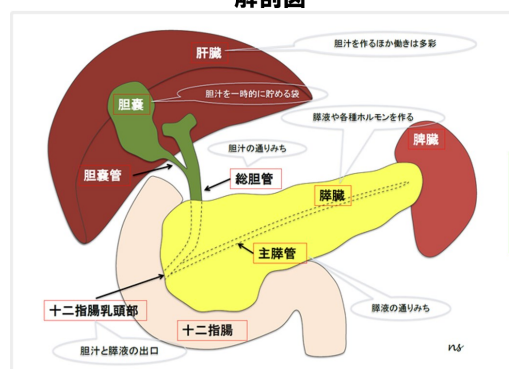
膵がんは早期診断が難しく、有効な治療法が確立されていない難治性がんの代表です。高齢化に伴い死亡数は急増し、平成29年度悪性新生物の部位別死亡率は男性は4位、女性では胃がんを抜き3位となりました。

2012年に日本膵臓学会から「腫瘍径が1cm以下の膵がんの5年生存率は80%以上」と報告され、今後の早期診断の目標とされています。しかしこの大きさでは約4割の患者さんが無症状で、腹部エコー検査でも描出困難な事が多く、腫瘍マーカー(CEA、CA19-9)の上昇も低率(15-40%)であるため、結果的に「異常なし」と診断される事は稀ではありません。

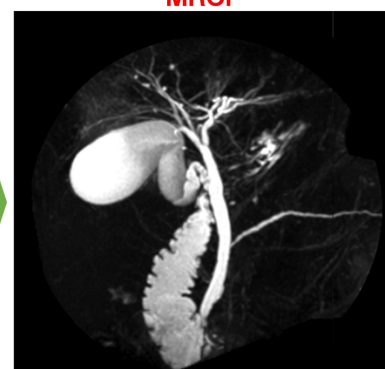
EUS(超音波内視鏡検査)やERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査)により早期診断は可能となりますが、身体への負担が大きくスクリーニング検査としては適しません。MRCP検査は腫瘍マーカーや腹部エコー検査で膵がんが疑われた場合、次に行う精密検査として位置づけられていますが、検査時間は概ね20分と短く、非侵襲的で被曝がないこと、腹部エコー検査で描出困難な部位も観察できることからスクリーニング検査として最近注目されています。糖尿病の方、家族歴に膵癌のある方、過去に膵臓に異常があるといわれた方にお勧めします。



解剖図



MRCP



※ 注意事項

- ①数秒間の息止めを行いながら撮影しますので息止めができない場合検査できません。
- ②心臓ペースメーカー、金属の埋め込みなどがある場合は検査できません。
- ③妊娠中や疑いがある場合は検査できません。

1 料金

¥27,500円(消費税込)

2 実施対象及び実施日

人間ドック受診後のオプション検査です。人間ドックと同日には検査できません。人間ドック受診後(腹部超音波検査実施が前提となります。)の土曜日となります。

第1~4 土曜日(祝日を除く) 1日5名まで(先着順とさせていただきます。)

ご集合時間 13:30、13:50、14:10、14:30、14:50 のいずれか

3 申込方法

事前にお電話か人間ドック受診日にお申込ください。

4 検査の流れ

午後医師面談後日程を決定し、検査のご説明をいたします。日程が決まったら、当日は朝食を摂る場合は、午前9:00までにお摂りいただき、その後は絶食で、上記ご集合時間まで来院していただきます。

更衣後MR検査室で造影剤を飲んで検査します。当日は検査終了後お帰りいただきます。結果は後日郵送となります。

ご不明な点は右記へお問い合わせください。

東京通信病院 人間ドックセンター

〒102-8798 千代田区富士見2-14-23

電話 03(5214)7167、7055